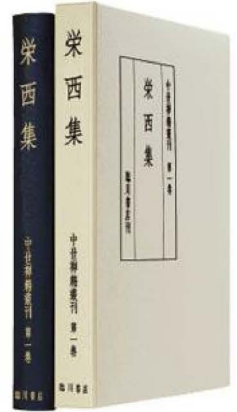


中世禅への新視角

『中世禅籍叢刊』が開く世界



2018年7月7日(土) 10:00~17:50

名古屋大学東山キャンパス
 文系総合館7Fカンファレンスホール

10:00~10:10 趣旨説明

末木文美士

10:10~11:25 パネル1: 能忍・栄西とその周辺

再び「達磨宗」について—『天台一宗超過達磨章』に基づいて—
 禅宗と機根—『禅家説』の位置づけをめぐって
 西国における栄西一門の形成について

古瀬 珠水
 和田有希子
 米田真理子

11:35~12:50 パネル2: 聖一派の展開と癡兀大慧

癡兀大慧の禅密思想—『大日経義釈見聞』を中心として—
 癡兀大慧の心識観—『菩提心論随文正決』の理解を中心に—
 癡兀大慧『灌頂秘口決』の仏身論—〈なる〉と〈ある〉をめぐって—

加藤みち子
 亀山 隆彦
 菊地 大樹

13:30~15:10 パネル3: 中国仏教の受容と日本禅

『教月要文集』について—『禅源諸詮集都序』の受容を中心に—
 日本禅宗における『宗鏡録』の受容
 『禅門詩文集』補考
 鎌倉時代の坐禅観について—『中世禅籍叢刊』を手がかりとして—

高柳さつき
 柳 幹康
 高橋 秀栄
 石井 修道

15:20~17:00 パネル4: 中世仏教の広がり

心地覚心の異端性
 中世仏教と偏執・驕慢—『天狗草紙』流布の背景—
 真福寺と尾張・三河の寺院—大須文庫蔵『阿婆縛抄』『反音抄』を中心に—
 真福寺と覚城院—特に信源をめぐって—

常磐井慈裕
 原田 正俊
 三好 俊徳
 伊藤 聡

17:00~17:15 総括コメント

阿部 泰郎

17:15~17:50 総合討論

主催: 名古屋大学大学院人文学研究科
 附属人類文化遺産テキスト学研究センター

問い合わせ先: 名古屋大学人類文化遺産テキスト学研究センター

TEL: 052-789-5993

E-mail: nagoya.cht.archives@gmail.com

入場無料
 申込不要